

# 平成30年度九州管内における電気事故について【概要版】

## 【電気事故全体での分析】

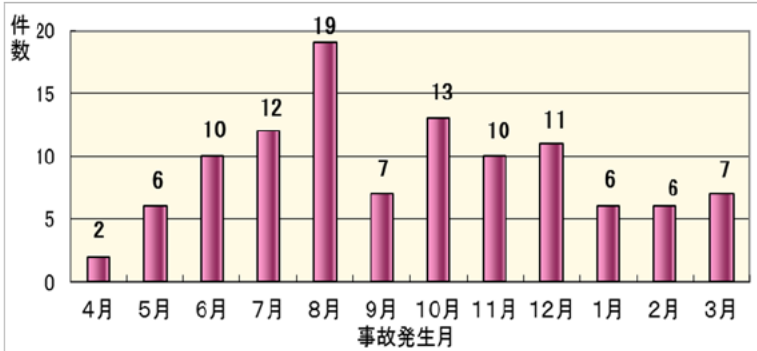
- 平成30年度、九州管内の電気事故は63件発生（前年度比－6件）
- 感電死傷事故は8件発生  
その内死亡事故は0件
- 破損事故は24件発生
- 波及事故は20件発生

## 【種類別での分析】

### 1. 感電死傷事故

- 8件(8名)発生（前年度比+2件）  
公衆感電4件、作業者感電4件  
※過去10年では8月が最多
- 配電線に係る公衆感電事故が3件発生

グラフ2. 管内感電死傷事故月別発生件数（過去10年の累計）



### ●事故例

#### <公衆>「被害者の過失」

足場撤去作業中、足場材を下段の作業者へ渡そうとして接触した際、保篋カバーがずれて感電した。

#### <電気作業員>「被害者の過失」

低圧活線作業において、柱上で足を滑らせ手袋が脱げた手で充電部をつかみ感電した。

#### <公衆>「被害者の過失」

外壁修繕作業中、保篋シートの絶縁強度が弱い部分に接触し感電した。

#### <電気作業員>「被害者の過失」

保篋リレー試験方法確認のためキュービクル背面側から中を覗いていたところ、何らかの原因で体勢を崩し、充電部に接触し感電した。

### 2. 感電以外の死傷事故

- 3件(3名)発生(前年度比－1件)

#### <電気作業員>「電気工作物の破損」

火力発電所の試験中、計量コンベアにおいて火災が発生し、監視していた作業員が負傷した。

#### <公衆>「電気工作物の操作」

分電盤を金属製ノズルの付いた掃除機を使って清掃作業中、ノズルが母線に接触し短絡し、アークを発生させ負傷した。

グラフ1. 管内の電気事故件数の推移 ※水力の「異常放流」除く。

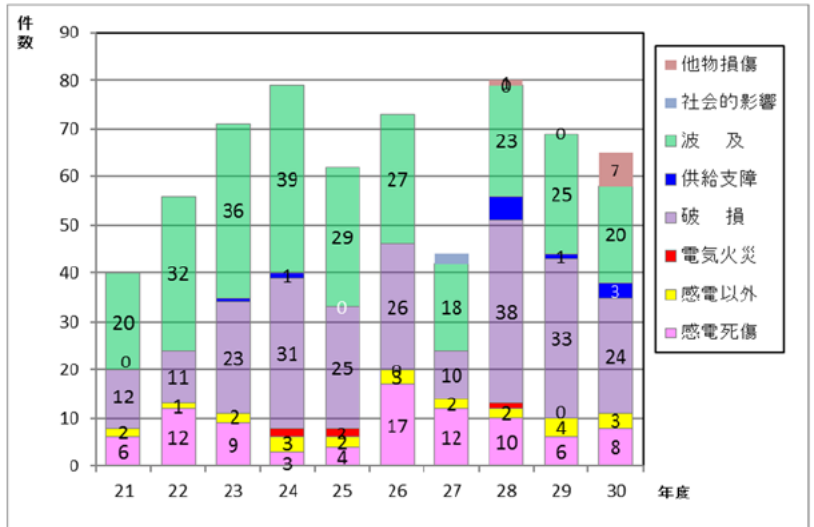


表1. 平成30年度管内電気事故の種類別件数

種類	区分	電気事業用電気工作物	自家用電気工作物	計
感電死傷		2 (3)	6 (3)	8 (6)
感電以外死傷		1 (0)	2 (4)	3 (4)
電気火災		0 (0)	0 (0)	0 (0)
他物損傷		0 (0)	7 (0)	7 (0)
破損		4 (2)	20 (31)	24 (33)
供給支障		3 (1)	—	3 (1)
波及		—	20 (25)	20 (25)
異常放流		1 (0)	0 (0)	1 (0)
社会的影響		0 (0)	0 (0)	0 (0)
計		11 (6)	52 (63)	63 (69)

(注) 1: ( ) 内は前年度の件数

2: 1回の事故で2種類以上にまたがる場合があり計は一致しません。

### 3. 主要電気工作物の破損事故

- 24件発生（前年度比－9件）
- 発電設備以外は1件  
 自家用電気工作物 0件（前年度比－1件）  
 電気事業用電気工作物 1件（前年度比＋1件）  
 送電線破損事故
- 発電設備の破損事故は23件（前年度比－9件）  
 自家用電気工作物 20件（前年度比－10件）  
 電気事業用電気工作物 3件（前年度比＋1件）

火力発電所	13件	（前年度13件）
太陽電池発電所	10件	（前年度15件）
風力発電所	0件	（前年度4件）
水力発電所	0件	（前年度0件）
送電線	1件	（前年度0件）
需要設備	0件	（前年度1件）
「保守不完全」	9件	（前年度8件）
「風雨」	5件	（前年度4件）
「雷」	3件	（前年度3件）
「製作不完全」	3件	（前年度1件）
「自然劣化」	1件	（前年度2件）
「化学腐しよく」	1件	（前年度1件）
「公衆の故意過失」	1件	（前年度0件）
「塩・ちり・ガス」	0件	（前年度1件）
「鳥獣齧蝕」	0件	（前年度1件）
「公衆の故意過失」	1件	（前年度0件）
「調査中・不明」	1件	（前年度8件）

### 4. 供給支障事故

- 3件発生（前年度比＋2件）  
 自然現象（風雨）によるもの

### 5. 波及事故

- 20件発生（前年度比－5件）
- 近年20から30件程度発生  
 7月に5件、8月に3件発生  
 ※過去10年では夏場に多い傾向
- 原因別では「保守不完全」「自然劣化」が併せて9件と約半数（45%）前年度に比べ6件増加  
 次に「雷」「火災」が各々3件（15%）
- 機器別では「高圧引込ケーブル」が8件（40%）、  
 次に「区分開閉器」が7件（35%）

グラフ3. 管内波及事故の月別発生件数（過去10年の累計）

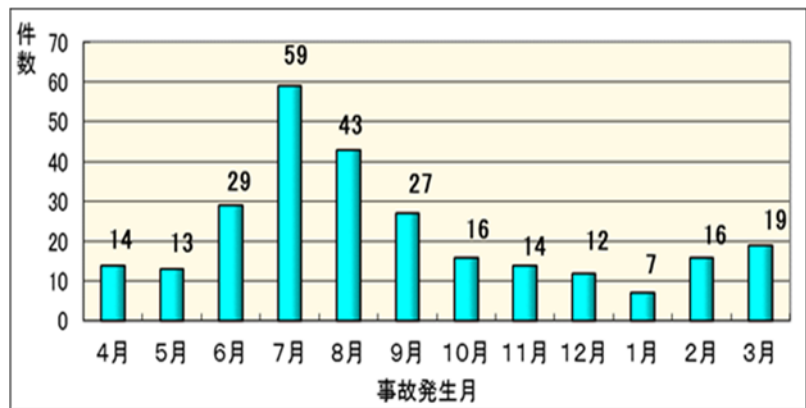
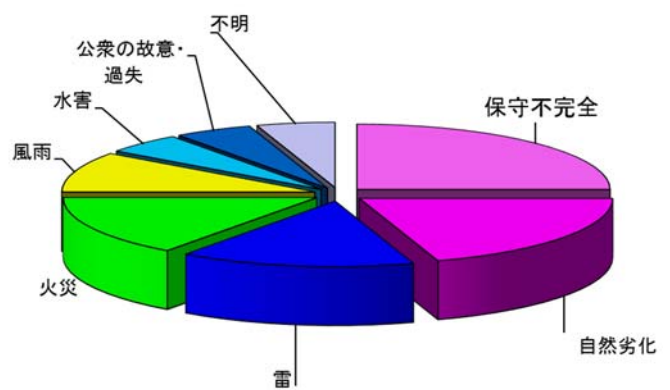


表2平成30年度管内波及事故の電気工作物別発生状況

発生順位	電気工作物	件数	前年度の件数
1	高圧引込ケーブル	8 (40.0%)	2 (8.0%)
2	区分開閉器	7 (35.0%)	15 (60.0%)
3	計器用変圧器	2 (10.0%)	3 (12.0%)
4	遮断器・LBS	1 (5.0%)	1 (4.0%)
4	変圧器	1 (5.0%)	0 (%)
4	電柱	1 (5.0%)	0 (%)
-	避雷器	0 (%)	2 (8.0%)
-	高圧絶縁電線	0 (%)	1 (4.0%)
-	常用予備切替盤	0 (%)	1 (4.0%)
合計		20 (100%)	25 (100%)

グラフ4. 平成30年度管内波及事故の原因別発生状況



### 6. 他物損壊事故

- 7件発生（前年比＋7件）  
 台風による太陽光発電所のパネル等の飛散

### 7. ダムの異常放流

- 1件発生（前年比＋1件）

### 8. 電気火災、発電支障、社会的影響事故

なし